

尾台先生追善法要に思う

中町 丸山 俊 久

冬も間近に迫り、円通寺（尾台先生の生家、小杉家の菩提寺）の雪囲いが始まっていた。

11月20日(出)尾台家ははじめ来賓、関係者各位、また当日の一般参列者を含め80人余の参列の下、尾台先生の追善法要が盛大に開催された。記念事業実行委員会（法要部）の一人として参列の機会に恵まれた。

季節はまさに錦秋の頃、若き日の尾台先生（幼名・小杉四郎治）も秋の城山に遊び、眼下の母なる大河に青雲の志を誓ったのではないか、などと想像してみた。

偉大なる先人に学び、顕彰する本事業は真に価値ある事業であり、現在も進行中である。

尾台先生の時代に限らず、いつの世も、父祖の願いは子孫の幸福、繁栄であろう。

この没後140年記念事業・追善法要が、次の世代に、より豊かな中条を引き継いでゆく弾みになるものと感じた次第です。



尾台榕堂没後140年記念事業に思う縁

振興会副会長 大淵美代子



この事業も本の配布、肖像画の作成・展示会等進められてきましたが、11月20日天候までも、この事業の後押しをしてもらったような、朝から快晴に恵まれました。円通寺様での厳粛且つ厳かな法要に始まり、市民会館での寺澤先生による「尾台榕堂大成への序章—初学時代の縁を考える」では、人と人の繋がり、縁を考えさせられました。その後ラポートに席を移しての祝賀会では、尾台家の子孫であられる尾台展弘さんが昭和42年頃飯山線を走るSLの写真の撮りに来られ、中条駅でテントを張られたお話が披露されました。その頃はまだ縁があると知らずに来られたのだそうです。その後20年程経ってから中条との縁を知ったとか。縁とは不思議なものだと思いました。

尾台榕堂東京記念碑建立事業 特別寄付のお願い

尾台榕堂記念事業が中条全町内のご協力をいただき、十日町市の共催と支援で、ほぼ計画通り進行しています。すでに1戸500円目途の協賛金を法要、漫画出版の費用として有り難く頂戴しました。残った事業は東京住居跡碑建立事業です。事業費は東洋医学界、東京十日町会に協賛金をお願いしていますが、地元中条からも特別寄付を賜りたくご支援を心よりお願い申し上げます。

振込み
口座

十日町農業協同組合 中条支店
店舗番号 5714-004
口座番号 0019718
尾台榕堂没後140年記念事業実行委員会

NPO笹山縄文の里から

地域の皆様方からご支援ご協力を頂き感謝申し上げます。

平成22年12月現在のNPO会員の状況をご案内いたします。町内(団体)が13町内、企業会員が11社、個人会員が50人となっております。ご参加の皆様大変ありがとうございます。

年度末は平成23年3月までです。是非ともご支援ご協力をお願い致します。

中条地区振興会

今後の主な予定

- やまて中条冬交流 H23年2月10日(木)~12日(土)
- 中条冬まつり H23年2月11日(金)